

出展者(グループ)紹介

浅田美知子

大地に根差す樹木や花をかくたびに、生きることの喜びを感じます。花も樹も私も同じ空の下に生きるもの同士。私も大樹のように逞しい力と花のように清く美しい心を持ちたいと思うのです。



石原百合子・及川優子『子育て絵手紙』(絵手紙花の会)

日々の小さな幸せを絵手紙に描いていたら十数年にわたる子育て絵手紙日記となりました。時には母の目線、時には子どもの目線で描いた絵手紙の数々。二人の母親がそれぞれの子ども達に注ぐ、愛情いっぱいの絵手紙です。



絵手紙・ひろしま(ろまんのか)香川道子

3年目の会です。広報誌「朗満運」で、より会の結びつき、想いの深さを伝えております。手書きで続ける喜びを感じております。



絵手紙仲間「すっぴん」の会

静岡県東部「伊豆の国市」「函南町」は、古くから生活の中にとけ込み人々に愛され、守られてきた数々の仏像が身近に多くあります。中には国宝に指定された運慶、愛弟子の実慶作など。そんな昔の人々の温かな心を今私達は、絵手紙を通じ感じとろうと思いのままかきました。多くの方々にご覧いただければ嬉しく思います。



遠藤市子とボランティア 蟻灯の会

蟻灯(ありがとう)の会は笑顔と会釈ありがとうの言葉を会則とし、絵手紙を土台に地域と密着活動をしています。大崎ウエストギャラリーへの出展は会員の治力を発表研く機会でもあります。『3.11東日本大震災忘れまいぞ』岩手の伝統芸能を取り上げました。



おもいのまま(代表 三野幸子)

同じ師の元で、絵手紙を学びながら、別にアートだけを学ぶ二つの時間を共有し、自由な発想と感性を生かしながら、半田先生の教室で模索中の仲間です。



木口孝水

風のように雲のように

いつものように、カタコトカタコト、コトコト電車が風と一緒に通り過ぎて言った。隣の町のあの森の花達はもう雲になって行ってしまったと。コトコトカタコトあの山越えて青い海、聞こえてくるよポンポン船と白い雲、また会える日は風が便りを呉れるだろう。



北川長一郎

絵手紙をはじめて14年目。ブログ『赤鬼と青鬼のダンゴ』にほぼ毎日絵手紙をアップして11周年になります。4000枚近くの絵手紙を夫婦で描き続けてきました。ブログの副題～絵手紙のある暮らし～は僕たちの生活そのものです。



北の絵手紙仲間(津島民子)

絵手紙に出会って26年が過ぎた。絵手紙は出会いの喜びにある。思いがけない出会いから好奇心が強くなり、学ぶ楽しさが広がった。一歩踏み出す勇気が大きく人生を変えた。後半の人生をこんなにも心豊かに、元気に楽しくしてくれる絵手紙の力をもっと沢山のの人に伝えていけたら最高に幸せだ。



吉川みか

絵手紙と出会って17年。今の私にとって絵手紙は日記のようなものでしょうか。日々の出来事、楽しかった事、美味しかったもの、それを絵手紙にして友人達に発信しています。私のささやかな日常の感動を、感じていただけたら嬉しいです。



阪本里美

絵手紙は書・絵・言葉の三位一体の楽しさ。交流は全国の友達との心と心の通じ合い。近年は奈良大会に参加。日本の美しさ、仏像や寺、神社、建造物の国宝を目の前にして、本物を観る、かく、感じる心を育てる、日本人に生まれてよかったと思います。過去の大会参加の記録です。



清野章子・平尾雅子

いい時もそうでない時も、暮らしの中のひと齣を友と絵手紙を交し続けて12年。沢山の出会いの中で学びあい、支えあい、かけがえない日々を過ごすことが出来ました。感謝、感謝です。これからも自分らしく楽しみながら続けていきたいと思っています。



徳勝弘江

紙で凸凹をつくり乾拓をとって絵手紙にしています。葉の拓をとった時、葉脈がとてもきれいにとれてびっくりしたのがきっかけです。瓦當や画像傳を拓でとったような表現ができないかと紙版画を考えました。絵手紙は筆でかくのが大事ですが、いろんな方法で自分らしく楽しむのもいいなと思っています。



飛騨高山界限(堀之内つ子絵手紙教室のみなさん)

飛騨には絢爛豪華な「祭り屋台」や風土、生活に適した飛騨の匠が造った「町屋敷」などよく知られていますが、庶民の生活から生まれた「さるぼぼ」などの民芸品や「みだらしだんご」や「朴葉寿司」などの食べ物。「三寺参り」などの伝承行事や「朝市」、「白川郷の合掌家屋」など、地域に密着した生活が今も生きています。私たちはこれらを絵手紙で表現し、伝えたいと思います。



福間明子とカルチャー教室のみなさん

魅力的な絵手紙をモットーに、みんなでトシを重ねてきました。手紙ですからまずは言葉を大切に。締めめの講評タイムは、笑いの渦が広がります。普段は物静かなかたがたから、野次や突っ込みが! こんなに楽しくてユーモア溢れる教室が、私は大好きです。



松尾ちる子と中野の仲間たち

お手玉、まりつき、かくれんぼ…暗くなるまで夢中になってあそんだ日々は豊かな思い出が詰まった宝物。そんな私たちが今の子どもたちに「何ができるのかな」との思いから、あそびの数々をかきため、小学校等への展示を通じてコツコツと想いを伝え続けてきました。その一枚一枚をみなさんにもご覧いただけたら嬉しいです。



森千景と木の花会の仲間たち

遊び心いっぱいの絵手紙交流をはじめて20年。「失敗は発見の扉」でみつけた楽しさで「遊び文字」にも発展させる。今回は楽しいお教室の仲間たちと「ねぶた祭り」をテーマにそれぞれが描いています。出会えたすべてに感謝をこめて。



絵手紙 フェスティバル 2015

～集まれ! 個性溢れる絵手紙・アイデアいっぱいの絵手紙～

(前期) 2015年2月3日(火)~10日(火)

(後期) 2015年2月20日(金)~27日(金)

(時間) 10:30~17:30 ※会期中無休・入場無料

会場・主催 大崎ウエストギャラリー

2010年より、2月3日が「絵手紙の日」に制定され、記念日協会に登録されました。

大崎ウエストギャラリーでは、絵手紙を愛好されているかた、さらには、毎年この日をきっかけにより多くの方達に絵手紙を知ってもらえるような盛大なイベントを計画してまいりました。

第6回目となる2015年は、前期展・後期展の2回に、全国から34名(グループ・団体等を含む)のみなさまに出展していただきます。

これを機にひとりでも多くの方々に、絵手紙を好きになっていただけたらうれしいです。

主催者

今年のフェスティバルはここに注目!

① 教室スペースを交流会場として開放

今年は例年開催していた体験教室・講演会等を開催しませんが、代わりに教室スペースを一般開放いたします。絵手紙仲間とのご歓談や出展されているかたとの交流の場としてご利用ください。
(26日(木)は他の利用予定がございますのでご利用いただけません。)

② 会期中は絵手紙の日(2月3日)に語呂合わせで 絵手紙教材がなんと! 23%引き

会期中は絵手紙教材(一部の教材と書籍は除く)を23%引きで販売いたします。これから絵手紙をはじめてみたいというご家族、お友達などいらっしゃるいましたらぜひこの機会にフェスティバルへお誘いください。

③ 前期・後期の2開催ご来場いただいたお客様には、 ステキな景品が当たるくじにチャレンジできます

ご来場いただいたかたは、会場内で来場スタンプを押していただき、「前期」と「後期」2つのスタンプを集めていただくと、『絵手紙セット』などの教材が当たるくじにチャレンジすることができます。お一人様1回のみ。

前期

後期

『絵手紙フェスティバル2015 記念集』1000円(税込)

絵手紙フェスティバル 2015 にご参加いただく全てのかたの絵手紙が掲載されているわけではありません。(2月3日発売予定)
※会場でお求めになれないかたは栄村の絵手紙株式会社にて通信販売も行っております。(TEL 0269-87-1910 / FAX 0120-5562-03)



〒141-0032 東京都品川区大崎3-6-7 パークハイツ大崎 3F(JR山手線大崎駅徒歩1分)
TEL 03-3490-4177 / FAX 03-3490-3358 URL http://www.space-gallery.net

E-TEGAMI FESTIVAL 2015

(前期) 2015年2月3日(火)~10日(火)

出展者(グループ)紹介

浅倉須真子

自然の豊かさの中で絵手紙を描いて楽しんでこられたことは大変嬉しいことです。この人も秋をたのしみに出掛けるのでしょうね。時々私も旅気分を味わいたくて、このホリデー快速に一駅だけ乗る時があります。



伊勢「い・い・とも会」

絵手紙始める前の自分、そして今の自分。皆さん、今の方がうんと輝いていると思いませんか? 元気になった、行動的になった、笑う事が多くなった...学ぶ楽しさを知り、どんどん美味しい絵手紙栄養取り込んで、輝く女性、ステキな男性になっているんですよ。私達、伊勢の3人娘もさらにいい女目指してずっとけながらも奮闘しています。



今井洋子と仲間達

教室が始まって20年近くなりますが、毎年八月は夏休みです。いつの頃からか、それぞれの夏の一日を絵手紙で知らせてくれるようになりました。封を開けば、仲間の顔が飛び込んできます。一人の人を思って心を込めてかかれた手紙。これこそが絵手紙の大切な精神と底力を教えてくれる私の宝物です。



植木啓子

こより絵は相手を思い乍ら一本一本心を込めてこよります。そしてつなげて絵が完成します。一言添えて発信すれば心と心も繋がります。今回は再度文字を表現してみました。カラー新聞の色の妙をご覧くださいましたらと、又、こよりを拓にとつて巻紙にしてみました。



絵手紙シールぺたんネッ人(代表 山田みちよ)

全国の絵手紙仲間のご支援の力で昨秋栄村の島田茂樹村長より「感謝状」を戴きました。夏には東北津波遭児支援「レインボーハウス」が仙台、石巻、陸前高田に。完成記事があしなが育英会、河北新報社、岩手日報社から届きました。感謝と報告等を展示します。遭児支援は継続しています。絵手紙シール3枚(3種類)を1セット1000円のご支援を今後共々協力宜しくお願いいたします。忘れないことは大きな支援です。



柿沼佑子と仲間たち

誰でも楽しんで描ける絵手紙。多くの人に見てほしいと3年前に人形の町・岩槻ぬめぐりイベントに展示しました。童話や昔話などの絵本から絵を模写し、その何枚かを展示しています。



兼岩幸恵

一年、また一年とかき続けてきました。いつ、どんな花が咲くのか。どんな実が生るのか、まだまだ先のことから、夢は果てしく続くのです。



小林生子絵手紙教室

栄村へ旅した際、道の駅でみつけた稲穂細工。あまりの素晴らしさに思わず買った教室の仲間たち。手塩にかけた稲から生まれる雪国の手仕事。温もりあふれる縁起物の鶴と亀。今回は絵手紙で共有してみました。余白に添えられた言葉と共にご覧頂ければ幸いです。



桜井幸子

医王山・飛騨国分寺の樹齢1200年の大銀杏を6月に訪ねた時、黄葉した葉が散って、一面黄色の絨毯を見たいと思った。その後、11月中旬に訪ねると、黄葉した葉に陽が当たり、黄金色に輝いていた。それはそれは美しく、神神しい姿でした。絵手紙に出会って、円空仏に、すばらしい自然に、いい人に出会って幸せです。



鈴木榮重

おっちょこちよいの、はじかき、つばきかきが、不二のお山の世界遺産が、嬉しくて、今までにかきためてきた、なかからパッパッと選んでみた。その時、その時、夢中で楽しんで、かいた30枚です。なにお、どうやって、たかがしれてる、好きなことを、楽しんで、おもいきり、かきまくり、生きまくり。



地球・絵手紙ネット・クラブ ~『連思絵手紙』を描く

日本の詩歌の伝統である連歌・連句・連詩に触発されて、絵手紙は「思いを描く」という趣旨を活かし、共同制作の方法で「思いを連ねる絵手紙」を描きました。5人が一組になり、同じ場所同じ時という条件の中で、テーマに沿った思いを、即興的に巻紙に描いてみました。



中井桂子

小豆島の岬の分教場に「桃栗三年柿八年、柚の大馬鹿十八年」と壺井栄の色紙があった。ならば「絵手紙の大馬鹿三十年」とでも言おうか。が、しかし、私今年絵手紙始めてちょうど三十年になる。まだまだ実を結ぶには程遠い。「絵手紙の大馬鹿一生涯」だね。ヘタでいいというけれど、絵手紙の奥の深さに感銘する。



南砺で志功にどっぷり

南砺は、棟方志功が戦後6年8ヶ月暮らした豊かな自然と温かい人情味あふれる地です。志功が歩いた道を巡りながら絵手紙のこころを学び、南砺の里に絵手紙の「花咲かせよう!」そして「根付かせよう!」とキャッチフレーズを掲げて、毎年テーマを決めて5年間継続して、志功にどっぷり浸りながら学び、交流しました。



日本遊印アート協会(代表 深沢紅爐)

『自由に印を彫って、自由に表現する遊印アート』を東京都美術館では毎年大作にチャレンジしています。四季折々から世界遺産まで、好きなモチーフで遊印絵手紙でもユニークな表現をしたいと思います。私どもの講師達もみな絵手紙の講師です。よろしく!!



林典子(大阪・ぴいす絵手紙教室主宰)

絵手紙に出会ってから季節は17回りました。その間、同じ春、同じ夏はなく、いつも新たな秋、まっさらの冬に遭遇してきました。絵手紙は静穏な海のようなです。私の心を水面に映し続ける様に導いてくれます。紆余曲折も喜怒哀楽も、人生の大切な宝物、味わいであることを教えてくれました。『絵手紙よ。ありがとさん』



峯譽・「桜とイペーとハイビスカスのなかま」

世界をつなぐ絵手紙、8年前から交流のブラジル、そして昨年からは始まったマレーシアとの交流、その仲間の絵手紙と一日一枚送り続けて9年目となる新聞ニュースで妻への「52円のプレゼント」、ときに「120円のボーナス」の最近の絵手紙を展示させていただきます。



宮脇泰彦

「絵手紙を見るとホッとします」とよく聞きます。心が喜んだのかもしれない。身体は食べ物で栄養を摂りますが、心にもよろこびとかホッとするとかたくさんの栄養が必要と考えます。そんな栄養がたくさん含まれている絵手紙を通して、皆様と共に学び、少しずつ成長し、より心豊かな日々を重ねることが出来たらいいなあと考えています。

